

ニール号追悼 150 年シンポジウム
かしわぎ ただとし
ニール号と柏木忠俊



事故対応にあたった柏木忠俊

令和6（2024）年はフランス船のニール号が南伊豆沖で沈没してから150年の節目の年となる。
乗員86名が犠牲となる悲惨な事故であり、日本政府にとって初めての国交が絡む海難事故であった。
この大規模な海難事故に対応した柏木忠俊と地域の人々はどのように対応したのか。
専門家から地域へ継承していく。

▲ 開催日 / 令和6年7月6日 土

- 時間 / 13時00分～16時30分（開場12時30分）
- 会場 / 伊豆の国市葦山文化センター（葦山時代劇場） 大ホール
- 定員 / 300名（入場無料・当日先着順）

●プログラム

開場

開演・主催者挨拶

趣旨説明

講演①「沈没船の水中調査について」 木村 淳（東海大学）

講演②「ニール号引き揚げ品について」 横山 梓（東京国立博物館）

講演③「柏木忠俊の対応について」 櫻井 祥行（三島市文化財保護審議会委員）

終了

主催 / 伊豆の国市教育委員会 共催 / 南伊豆町・東海大学
後援 / 南伊豆町教育委員会

問合せ先（伊豆の国市文化財課）
TEL：055-948-1428